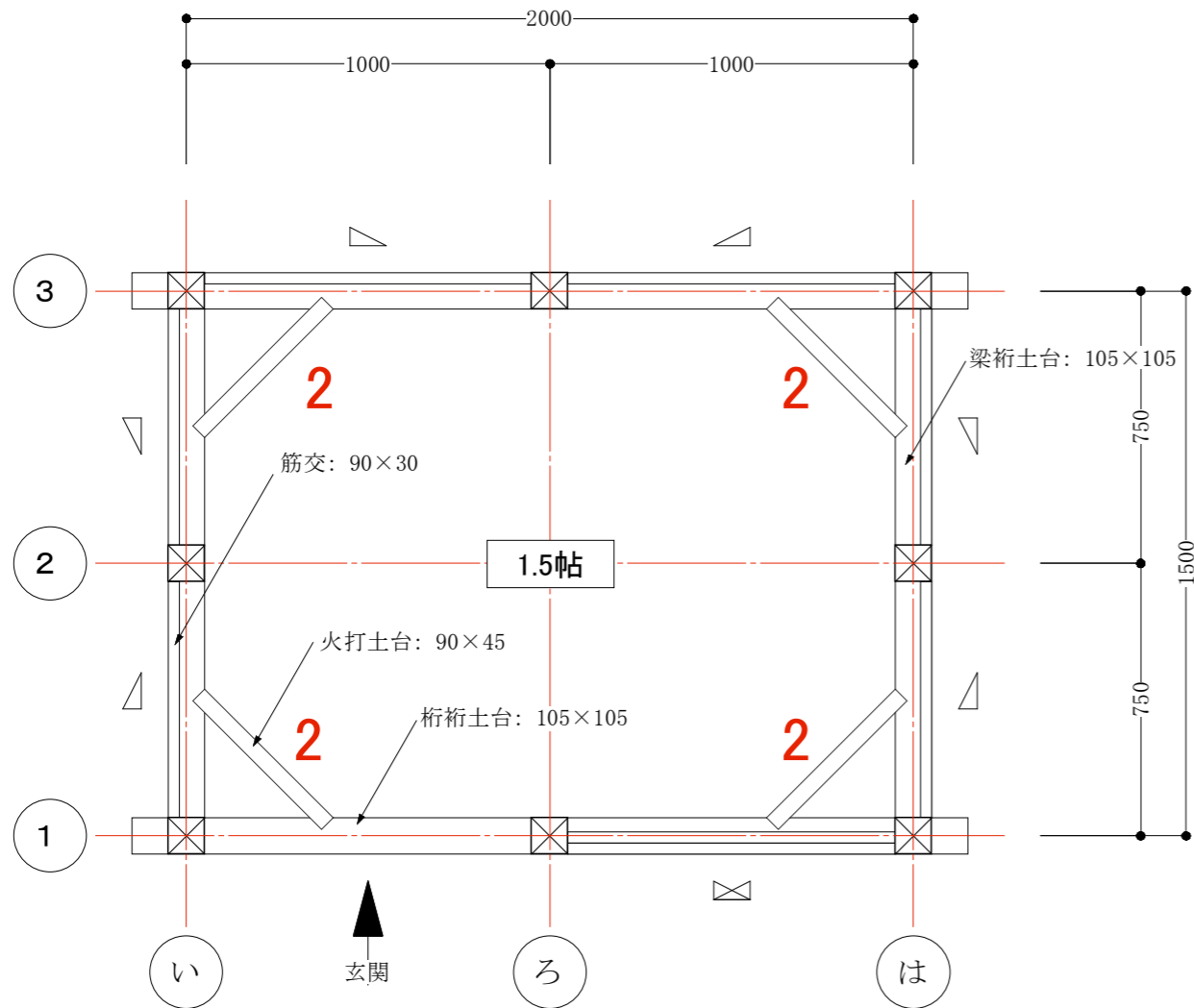


部材リスト

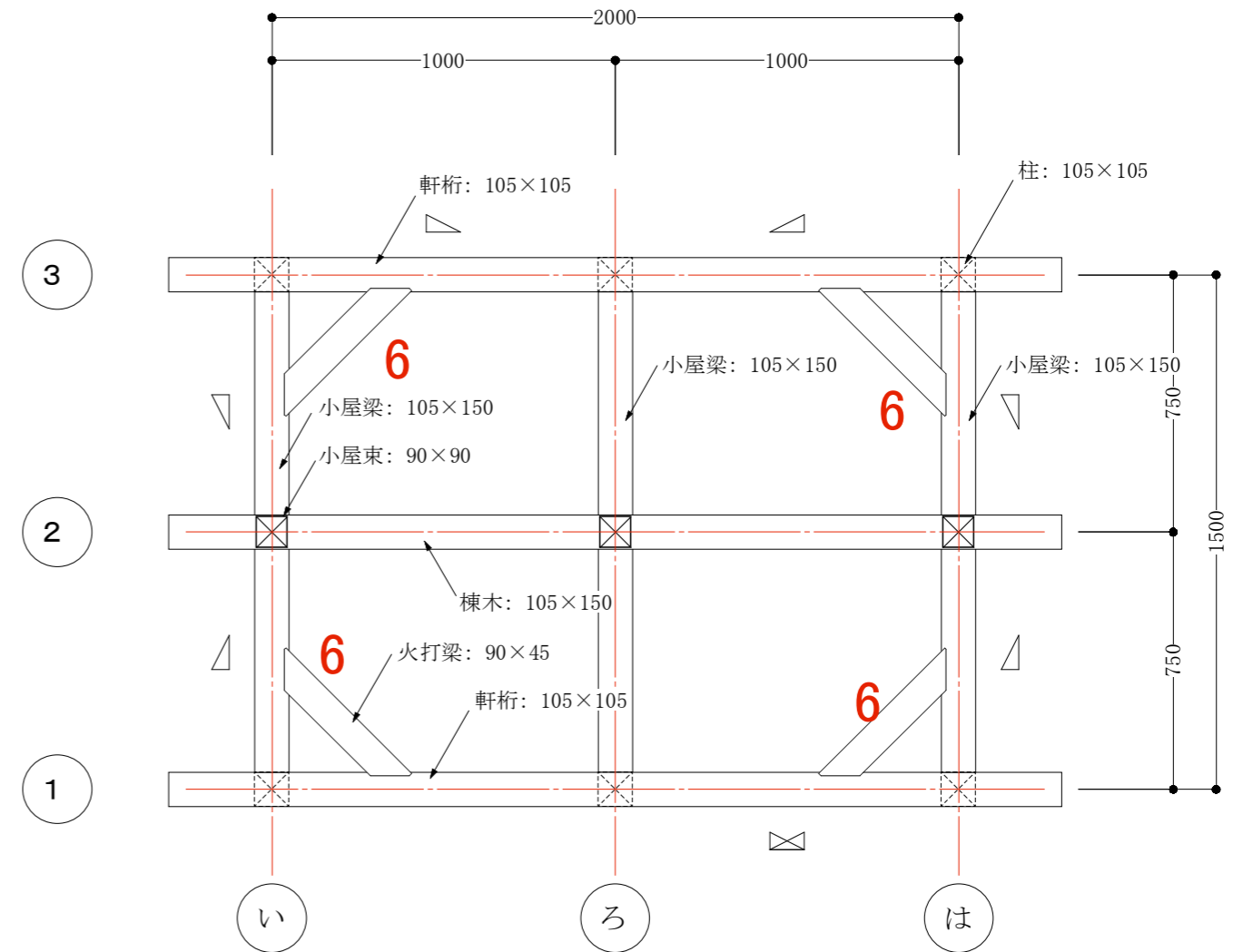
- 1. 桁桁土台: 105×105×2300×2本 桧
- 2. 梁桁土台: 105×105×1395×2本 桧
- 3. 火打土台: 90×45×500×4本 杉
- 4. 柱 : 105×105×1290×8本 杉
- 5. 軒桁 : 105×105×2600×2本 杉
- 6. 小屋梁 : 105×150×1395×3本 杉
- 7. 筋交 : 90×30×1580×8本 杉
- 8. 火打梁 : 90×45×500×4本 杉
- 9. 小屋束 : 90×90×350×3本 杉
- 10. 棟木 : 105×105×2600×1本 杉

N A L	中飯賀業 建築研究所	SHIGENOBU . NAKAI
	Architectural Laboratory	
建築士会阿南那賀支部 建物モデル		
立面図		
Scale 1/20	No. A-2	day2015.11
779-1750 徳島県阿南市檜町瀬井29-6		29-6 SEI TSUBAKIHO ANAN CITY.
TEL.FAX(0884)33-0925		TOKUSHIMA-KEN JAPAN
		nakachn@lime.ocn.ne.jp



柱頭 柱脚 スジカイ 筋交位置を示す。

平面図 1/20



小屋伏図 1/20

建て方の作業順序及び注意事項

1. 建て方場所に土台設置用の芯墨及びより墨の墨出し(直角に注意すること)。
2. 地墨に合わせ両側の桁桁土台の設置、その後梁桁土台を設置する。
3. 各土台が地墨からずれていない事を確認し火打土台を設置する。
4. 柱の位置方向を間違わないよう土台のホソ穴にホソを入れて建て込む。
5. 軒桁を柱のホソに入れてカケヤで柱に打込む、その後小屋梁を架ける。
6. 下げ振りを使用し建物の起き(垂直)を確認し筋交と火打梁を取付ける。
7. 小屋束を小屋梁に取付、最後に棟木を設置し神事を行い建て方が完了。

※注意 各部材は大きさが同じでも全て違う。設置する場所は部材に書かれた文字に合わせる事。

部材リスト

1. 桁桁土台: 105×105×2300×2本 桧
2. 梁桁土台: 105×105×1395×2本 桧
3. 火打土台: 90×45×500×4本 杉
4. 柱 : 105×105×1290×8本 杉
5. 軒桁 : 105×105×2600×2本 杉
6. 小屋梁 : 105×150×1395×3本 杉
7. 筋交 : 90×30×1580×8本 杉
8. 火打梁 : 90×45×500×4本 杉
9. 小屋束 : 90×90×350×3本 杉
10. 棟木 : 105×105×2600×1本 杉

N A L	中飯賀業 建築研究所	SHIGENOBU . NAKAI
	建築士会阿南那賀支部 建物モデル	Architectural Laboratory
平面図 小屋伏図		
Scale 1/20	No. A-1	day2015.11
779-1750 徳島県阿南市榑町瀬井29-6	29-6 SEI TSUBAKIHO ANAN CITY, TOKUSHIMA-KEN, JAPAN	
TEL FAX(0884)33-0925	nakachn@lime.ocn.ne.jp	